

6) 籠谷秀翁, 大谷 勲: フレオンガスの死後侵入について(第二報). 第6回日本法医学会中部地方会, 1984, 11, 長久手.

7) 岩佐峰雄, 山下弘子, 大谷 勲: 唾液アミラーゼの種属特異性について. 第6回日本法医学会中部地方会, 1984, 11, 長久手.

8) 大谷 勲, 中村 功, 籠谷秀翁: 硬膜下出血から脳死に至った1剖検例. 第6回日本法医学会中部地方会, 1984, 11, 長久手.

9) Takizawa H.: Comparative Immunochemistry of Human Blood Group A Glycosyltransferase. 日本人類遺伝学会第29回大会, 1984, 11, 富山.

内 科 学 (1)

教 授	矢 野 三 郎
講 師	中 尾 皖 英
講 師	加 藤 弘 巳
講 師	浜 崎 智 仁
講 師	泉 三 郎
助 手	大 角 誠 治
助 手	水 島 豊 彦
助 手	鈴 木 英 直
助 手	山 下 宏 治
助 手	丸 山 宗 治

◆ 著 書

1) 矢野三郎, 大角誠治: 「糖尿病」, 富山市商工労働部薬業課, 1984.

2) 泉 三郎: 嘔声. 「内科 Q and A シリーズ呼吸器病」, 113—114, 金原出版, 1984.

3) 鈴木英彦, 伊藤正己: 呼吸器疾患と酵素学的検査. 「内科 Q and A シリーズ呼吸器病」, 263—264, 金原出版, 1984.

◆ 原 著

1) Kanaoka M., Yano S., Kato H., Nakaniishi K. and Yoshizaki M.: Studies on the enzyme immunoassay of bioactive constituents contained in oriental medicinal drugs. III. Enzyme immunoassay of paeoniflorin, a constituent of chinese paeony root. *Chem. Pharm. Bull.* **32**: 1461—1466, 1984.

2) 高田良久, 赤川直次, 加藤弘巳, 中尾皖英, 矢野三郎: 同一家系内発症例を含む macroamilasemia の5症例. 日本臨床代謝学会記録 (XX) 245—247, 1984.

3) 金岡又雄, 矢野三郎, 加藤弘巳, 中西京子, 吉崎正雄: 和漢薬の生理活性成分の酵素免疫測定法の研究, 芍薬成分 Paeoniflorin の酵素免疫測定法について. *和漢医薬学会誌* **1**: 42—43, 1984.

4) 横山彰仁, 鈴木英彦, 泉 三郎, 矢野三郎: 著明な肺病変を伴ったホジキン病の1例. *日本胸部疾患学会誌* **22**: 703—707, 1984.

5) 田中三千雄, 若林泰文, 坂東 毅, 七沢 洋, 本間 保, 稲土修嗣, 野尻裕之, 渋谷 隆, 窪田芳樹, 島田一彦, 藤倉信一郎, 斎藤清二, 佐々木 博, 加藤弘巳, 土佐 寛, 龍村俊樹, 麓 耕平: 内視鏡像の客観的表示に関する研究(第1報)——色調の客観的表示を目的とした装置の開発とその性能について——. *Gastroenterological Endoscopy* **26**: 514—525, 1984.

6) Hamazaki T., Tateno S. and Shishido H.: Eicosapentaenoic Acid and IgA nephropathy. *Lancet* **1**: 1017—1018, 1984.

7) Hamazaki T., Nakazawa R., Tateno S., Shishido H., Isoda K., Hattori Y., Yoshida H., Fujita T., Yano S. and Kumagai A.: Effects of fish oil rich in eicosapentaenoic acid on serum lipid in hyperlipidemic hemodialysis patients. *Kidney Int.* **26**: 81—84, 1984.

8) 大角誠治, 小林 正, 岩崎 誠, 前川 聡, 繁田幸男, 山口信一郎, 木戸 博, 西村敏夫: 糖尿病性腎症を有するインスリン抵抗性糖尿病の一症例. *糖尿病* **27** suppl. **1**: 111—118, 1984.

9) Kobayashi M., Ohgaku S., Iwasaki M., Maegawa H., Watanabe N., Takada Y., Shigetani Y. and Inouye K.: Changes in receptor binding, biological activity and immunoreactivity of insulin caused by replacing the residues B23-B26 with alanine. *Biomed. Res.* **5**: 267—272, 1984.

10) Mizushima Y., Wepsic H. T., Yamamura Y., DeSilva M. A., Janns G. and Larson C. H.: Negative and positive immunobiological responses in mice pretreated with Bacillus Calmette-Guerin cell wall. *Cancer Res.* **44**: 20—24, 1984.

11) Mizushima Y., Wepsic H. T. and Kobayashi H.: Antitumor therapeutic effect of neuropeptide on transplanted tumors in rats. *Oncology* **41**: 289—292, 1984.

12) Mizushima Y., Wepsic H. T., DeSilva M. A., Janns G. and Larson C. H.: Comparative studies on tumor and adjuvant (BCGw)-induced

nonspecific suppressor cells in rats. *Tohoku J. Exp. Med.* **143** : 295—304, 1984.

13) Mizushima Y., Wepsic H. T., Yamamura Y. and DeSilva M. A. : Tumor-induced suppressor macrophages in rats : Differences in their suppressive effects on the Con-A and PHA-P responses. *Clin. Exp. Immunol.* **57** : 371—379, 1984.

14) Suzuki H., Yamashita N., Sugiyama E., Sato M., Ito M. and Yano S. : Role of monocytes in the augmentation of human natural killer activity by interleukin-2. *Anticancer Res.* **4** : 63—68, 1984.

15) Suzuki H., Izumi S., Yamashita N., Sugiyama E. and Yano S. : Immunological studies of chest disease. (I) Lymphocyte function in patients with sarcoidosis. *Jap. J. Med.* **23** : 299, 1984.

16) Yamashita N., Suzuki H., Maruyama M., Sugiyama E. and Yano S. : Effects of aging on the in vitro response of human lymphocytes to interleukin - 2. *Jap. J. Med.* **23** : 211 — 215, 1984.

17) 山下直宏, 鈴木英彦, 佐藤雅樹, 岩田正徳, 丸山宗治, 杉山英二, 矢野三郎 : マイクロファージの腫瘍細胞障害機序 : O_2^- , H_2O_2 に関する検討. *炎症* **4** : 405—406, 1984.

18) 丸山宗治, 鈴木英彦, 佐藤雅樹, 岩田正徳, 山下直宏, 杉山英二, 矢野三郎 : レクチンによるマウス腹腔マクロファージ活性化酸素産生能増強作用, *炎症* **4** : 403—404, 1984.

19) 杉山英二, 池本雅仁, 杉森正克, 浦風雅春, 加藤弘巳, 矢野三郎 : 慢性関節リウマチに対する強力ネオミノファーゲンCの大量療法. *Minophagen Med. Rev.* **29** : 74—76, 1984.

20) 杉山英二, 鈴木英彦, 赤川直次, 山下直宏, 矢野三郎, 飯田博行, 北川正信 : IgA 腎症を合併した Behçet 病の 1 例. *日内会誌* **73** : 1818—1822, 1984.

◆ 総 説

1) 矢野三郎, 杉山英二 : ステロイドホルモンと感染症. *最新医学* **39** : 1624—1627, 1984.

2) 矢野三郎 : G-unit 欠損症. *代謝* **21** : 198, 1984.

3) 浦風雅春, 矢野三郎 : DDAVP の止血作用. *代謝* **21** : 1362, 1984.

4) 矢野三郎, 城石平一 : 漢方製剤の成人病に対

する適応. *Medicament News* 1088号, 16—17, 1984.

◆ 学会報告

1) 浜崎智仁, 矢野三郎 : アルコールによる血液粘度の変化. 第39回中部地区老年医学談話会, 1984, 2, 名古屋.

2) 吉川俊史, 山下直宏, 加藤弘巳, 矢野三郎 : 血清コリンエステラーゼ異常症の一例. 第122回日本内科学会北陸地方会, 1984, 3, 金沢.

3) 大角誠治, 矢野三郎, 小林 正, 前川 聡, 渡辺修明, 高田康光, 繁田幸男, 榎野義博 : NOD 垂型マウス (NON マウス) におけるインスリン結合について. 第29回日本糖尿病学会中部地方会, 1984, 3, 名古屋.

4) 鈴木英彦, 泉 三郎, 山下直宏, 杉山英二, 矢野三郎 : 胸部疾患に関する免疫学的研究. (I) サルコイドーシス患者のリンパ球機能. 第81回日本内科学会講演会, 1984, 4, 福岡.

5) 高田良久, 中尾皖英, 矢野三郎 : 部分精製グルココルチコイド受容体の S H 剤に依る再活性化. 第57回日本内分泌学会総会, 1984, 5, 東京.

6) 杉山英二, 山下直宏, 岩田正徳, 矢野三郎 : RA におけるリンパ球機能—— I L - 2 に対する反応性の検討——. 第28回日本リウマチ学会総会, 1984, 5, 東京.

7) 杉山英二, 鈴木英彦, 山下直宏, 丸山宗治, 矢野三郎, 飯田博行, 北川正信 : IgA 腎症を合併したベーチェット病の一例. 第12回日本臨床免疫学会総会, 1984, 6, 東京.

8) 浜崎智仁, 穴戸英雄, 吉田豊彦, 矢野三郎, 熊谷 朗 : エイコサペンタエン酸 (EPA) 濃縮魚油の高脂血症透析患者の血清脂質に対する影響. 第16回日本動脈硬化学会総会, 1984, 6, 東京.

9) Hamazaki K., Nakazawa R., Tateno S., Shishido H., Isoda K., Hattori Y., Yoshida T., Fujita T., Yano S. and Kumagai A. : Effects of fish oil rich in eicosapentaenoic acid (EPA) on serum lipid and blood pressure in hyperlipidemic hemodialysis patients. IXth International Congress of Nephrology, 1984, 6, LOS ANGELES.

10) 横山彰仁, 鈴木英彦, 杉山英二, 山下直宏, 泉 三郎, 矢野三郎, 小泉富美朝 : 入院経過中に病像が完成した ATL の 1 例. 第123回日本内科学会北陸地方会, 1984, 6, 福井.

11) 山下直宏, 鈴木英彦, 丸山宗治, 矢野三郎 : マイクロファージの腫瘍細胞障害機序. 第 2 回富山医薬大スーパーオキシド研究会, 1984, 6, 富山.

12) 鈴木英彦, 山下直宏, 杉山英二, 丸山宗治, 矢野三郎: インターロイキン-2 によるヒトリンパ球の腫瘍細胞傷害能増強効果. 第12回日本臨床免疫学会総会, 1984, 6, 東京.

13) 山下直宏, 鈴木英彦, 杉山英二, 丸山宗治, 矢野三郎: Interleukin-2 による癌患者末梢血中の Nonspecific Killer 活性の増強効果. 第12回日本臨床免疫学会総会, 1984, 6, 東京.

14) 丸山宗治, 鈴木英彦, 佐藤雅樹, 岩田正徳, 山下直宏, 杉山英二, 矢野三郎: レクチンによるマウス腹腔マクロファージ活性酸素産生能増強作用. 第5回日本炎症学会, 1984, 7, 東京.

15) 山下直宏, 鈴木英彦, 佐藤雅樹, 岩田正徳, 丸山宗治, 杉山英二, 矢野三郎: マクロファージの腫瘍細胞障害機序: O_2^- , H_2O_2 に関する検討. 第5回日本炎症学会, 1984, 7, 東京.

16) 横山彰仁, 沢崎茂樹, 泉 三郎, 矢野三郎, 北川正信: 気管支腺腫の1例. 第18回日本肺癌学会北陸地方会, 1984, 7, 金沢.

17) 浦風雅春, 浜崎智仁, 矢野三郎, 近藤信一, 桜川信男: Monoclonal gammopathy に合併した後天性 von Willebrand 病と思われる一例. 第38回北陸医学会総会, 1984, 9, 金沢.

18) 城石平一, 加藤弘巳, 大角誠治, 矢野三郎: 糖尿病性神経障害に対する和漢薬治療の試み——桂枝加求附湯, 八味地黄丸, 牛車腎気丸の使用経験. 第1回和漢医薬学会, 1984, 9, 富山.

19) 坂東みゆ紀, 寺澤捷年, 矢野三郎, 加藤弘巳, 金岡又雄, 平手純司, 堀越 勇: グリチルレチン酸の体内動態に関する研究. 第1回和漢医薬学会, 1984, 9, 富山.

20) 宮入宏之, 斉藤明宏, 諸橋正昭, 山下直宏, 矢野三郎: IgA, K 型骨髄腫を伴った角層下膿疱症. 第35回日本皮膚科学会中部支部総会・学術大会, 1984, 9, 大阪.

21) 山下直宏, 杉山英二, 矢野三郎: Herpes zoster の経過中に SLE 様症状を呈した92才女性の1症例. 第40回中部地区老年医学談話会, 1984, 9, 名古屋.

22) 山下直宏, 鈴木英彦, 矢野三郎: 癌患者末梢血中の Nonspecific Killer 活性に及ぼす Interleukin-2 の効果. 第43回日本癌学会総会, 1984, 10, 福岡.

23) 川村和弘, 中田貴子, 加藤弘巳, 矢野三郎, 金岡又雄, 坂東みゆ紀: 低分子物質の酵素免疫測定法における架橋の研究——架橋の違い, 組み合わせにより感度は上昇するか?——. 第24回日本臨床化

学会年会, 1984, 11, 仙台.

24) 加藤弘巳, 矢野三郎: グリチルレチン酸-3-モノグルクロナイド並びに“芍薬”有効成分ペオニフロリンの酵素免疫測定法に関する研究. 第1回富山和漢薬懇話会, 1984, 11, 宇奈月.

25) 館野純生, 宍戸英雄, 中沢了一, 磯田和雄, 浜崎智仁, 矢野三郎, 熊谷 朗: エイコサペンタエン酸による IgA 腎症の治療. 第27回日本腎臓学会総会, 1984, 11, 東京.

26) 森岡尚夫, 大角誠治, 城石平一, 矢野三郎: 尿細管障害による高クロール性アシドーシスを伴った糖尿病性腎症の一例. 昭和59年度日本糖尿病学会東海・北陸合同地方総会(第30回日本糖尿病学会中部地方会), 1984, 11, 富山.

27) Tateno S., Hamazaki T., Shishido H., Yano S., Kumagai A. and Fujita T.: The effect of EPA on IgA nephropathy. Kyoto Conference on Prostaglandins, 1984, 11, 京都.

28) 星野 清, 杉山英二, 丸山宗治, 山下直宏, 水島 豊, 泉 三郎, 矢野三郎: 胸壁およびその近傍病変に対する超音波断層法の応用について. 第31回日本結核病学会, 第20回日本胸部疾患学会, 第5回日本気管支学会合同北陸地方会, 1984, 11, 金沢.

29) 奥村 正: 高齢者肺炎の特徴のその考察. 第31回日本結核病学会, 第20回日本胸部疾患学会, 第5回日本気管支学会合同北陸地方会, 1984, 11, 金沢.

30) 山下直宏, 杉山英二, 丸山宗治, 鈴木英彦: 肺癌患者末梢血リンパ球の Natural Killer 活性, Nonspecific Killer 活性に及ぼす Interleukin-2 の効果. 昭和59年度日本内科学会東海・北陸合同地方総会シンポジウム, 1984, 11, 富山.

31) 山下直宏, 鈴木英彦, 佐藤雅樹, 岩田正徳, 杉山英二, 丸山宗治, 伊藤正己, 矢野三郎: ヒト末梢血リンパ球の PHA-activated killer 活性誘導に対する $PG E_2$ の抑制効果. 第14回日本免疫学会総会, 1984, 12, 大阪.

32) 池本雅仁, 浦風雅春, 高田良久, 赤川直次, 中尾皖英, 矢野三郎: 三例の亜急性甲状腺炎の超音波断層像について. 第3回北陸合同内分泌代謝懇話会, 1984, 12, 金沢.

33) 浜崎智仁, 矢野三郎: ニセリトロール(ペリシット[®])と少量アスピリンの併用が血小板凝集能に及ぼす影響. 第7回日本血栓止血学会, 1984, 12, 東京.

34) 浜崎智仁, 浦風雅春, 矢野三郎, 小林 悟, 熊谷 朗: エイコサペンタエン酸 (EPA) が赤血

球変形能を改善する機序について。第7回日本血栓止血学会, 1984, 12, 東京。

35) 泉 三郎, 山下直宏, 丸山宗治, 鈴木英彦, 矢野三郎: 呼吸器感染症に対するMK-0787/MK-0791の臨床使用経験について。第32回日本化学療法学会西日本支部総会, 1984, 12, 岡山。

36) 稲垣 均, 佐野豪泰, 黒田 寛, 浜崎智仁, 浦風雅春, 矢野三郎: ダイアライザー内及び血液回路内洗浄の重要性とその効果。富山県腎疾患・人工透析研究会, 1984。

37) 浜崎智仁, 矢野三郎, 吉田豊彦: エイコサペンタエン酸(EPA)のHD患者への応用。富山県腎疾患・人工透析研究会, 1984。

◆ その他

1) 水野 肇, 矢野三郎: リズムを考える。看護技術 30 (14): 118-131, 1984。

2) 加藤弘巳, 中西京子, 岡岡又雄: グルチルレン酸, グルチルリチンの酵素免疫測定法とその臨床応用。MINOPHAGEN MEDICAL REVIEW SUPPLEMENT 15: 3-11, 1984。

3) 勝 正孝, 大澤仲昭, 水島 裕, 矢野三郎: ステロイド療法をめぐる。治療学 12: 371-387, 1984。

内 科 学 (2)

教 授	篠 山 重 威
助 教	水 村 泰 治
講 師	飯 田 博 行
講 師	高 田 正 信
助 手	余 川 茂
助 手	井 内 和 幸
助 手	井 上 雄 吉
助 手	秋 山 真
助 手	松 本 三千夫
助 手	神 保 正 樹
助 手	麻野井 英 次
助 手	中 島 久 宜

◆ 著 書

1) Kawai C, Sasayama S, Sakurai T, Matsumori A, Yui Y: Recent advances in the study of hypertrophic and dilated (congestive) cardiomyopathy. In Progress in Cardiology, ed by Yu PN, Goodwin JF, Lea and Febliger, 225-248, Philadelphia, 1983。

2) Sasayama S, Kawai C, Ross JJr. : Contrac-

tile state of the hypertrophied ventricle. Regulation of cardiac function, ed by Abe H, Ito Y, Tada M, and Opie LH, 207-218, Sapan sci. Soc. Press, 1984。

3) 秋山 真, 杉本恒明: 突然に現われる動悸と発作中の胸部圧迫感。「心臓病ケーススタディ」日野原重明他編, 301-307, 医学書院, 1984。

◆ 原 著

1) Sasayama S, Nonogi H, Fujita M, Sakurai T, Wakabayashi A, Kawai C, Eiho S, Kuwahara M: Three-dimensional analysis of regional myocardial function in response to nitroglycerin in patients with coronary artery disease. JACC 3: 1187-1196, 1984。

2) Nonogi H, Sasayama S, Sakurai T, Kawai C, Eiho S, Kuwahara M: Intravenous left ventriculography utilizing digital subtraction technique. Jap. Circ. J. 48: 559-566, 1984。

3) Sasayama S, Nonogi H, Fujita M, Sakurai T, Wakabayashi A, Kawai C, Eiho S, Kuwahara M: Analysis of asynchronous wall motion by regional pressure-length loops in patients with coronary artery disease. JACC 4: 259-267, 1984。

4) Ohyagi A, Sasayama S, Nakamura Y, Lee JD, Kihara Y, Kawai C: Effect of ICI 118, 587 on left ventricular function during graded treadmill exercise in conscious dogs. Am. J. Cardiol. 54: 1108-1113, 1984。

5) Fujiwara H, Onodera T, Takata M, Shirane H, Kato H, Yoshikawa J, Osakada G, Sasayama S, Kawai C: Progression from hypertrophic obstructive cardiomyopathy to typical dilated cardiomyopathy-like features in the end state. Jap. Circ. J. 48: 1210-1214, 1984。

6) Fujisawa A, Sasayama S, Takahashi M, Nakamura M, Ohyagi A, Lee J, Yui Y, Kawai C: Enhancement of left ventricular contractility after opening of an arteriovenous fistula in dogs. Cardiovasc. Res. 18: 51-59, 1984。

7) Shimada T, Sasayama S, Takahashi M, Osakada G, Kawai C: Improvement of pacing induced regional myocardial ischemia by solcoseryl in conscious dogs with coronary artery stenosis. Jap Circ. J. 48: 150-156, 1984。

8) Sasayama S, Fujita M, Nonogi H, Kawai C, Eiho S, Kuwahara M: Quantitative assessment